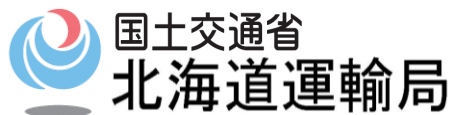


北海道の観光基礎データ

令和7年5月30日



○本資料に係るお問い合わせ先
北海道運輸局 観光部 国際観光課
TEL : 011-290-2723
MAIL : hkt-kokusai_kankou@gxb.mlit.go.jp

目次

訪日外国人旅行者数（国）

- P2 訪日外国人旅行者数の推移（全国・2003年～2025年）
- P3 2025年4月の市場別外客数（全国・2024年同月比）
- P4 2025年1～4月の市場別外客数（全国・2024年同期比）
- P5 訪日外国人旅行者数及び割合（2024年、国・地域別）

訪日外国人旅行者数（北海道）

- P6 北海道におけるインバウンド最新トレンド
- P7 北海道観光入込客数（実人数）の推移（2008年度～2023年度）
- P8 訪日外国人来道者数（実人数）の推移（2008年度～2023年度）
- P9 訪日外国人来道者の国・地域別の割合（2023年度・実人数）
- P10 圏域別訪日外国人来道者の国・地域別の割合（2023年度・宿泊延べ数）

旅行消費額（国）

- P11 インバウンド消費動向調査（2025年1-3月期）
- P12 1泊当たりの費目別旅行消費額（アジア・2025年 最新四半期）
- P13 1泊当たりの費目別旅行消費額（欧米豪・2025年 最新四半期）
- P14 インバウンド消費動向調査（2024年 年間確報値）
- P15 訪日旅行における1人当たり旅行支出の推移

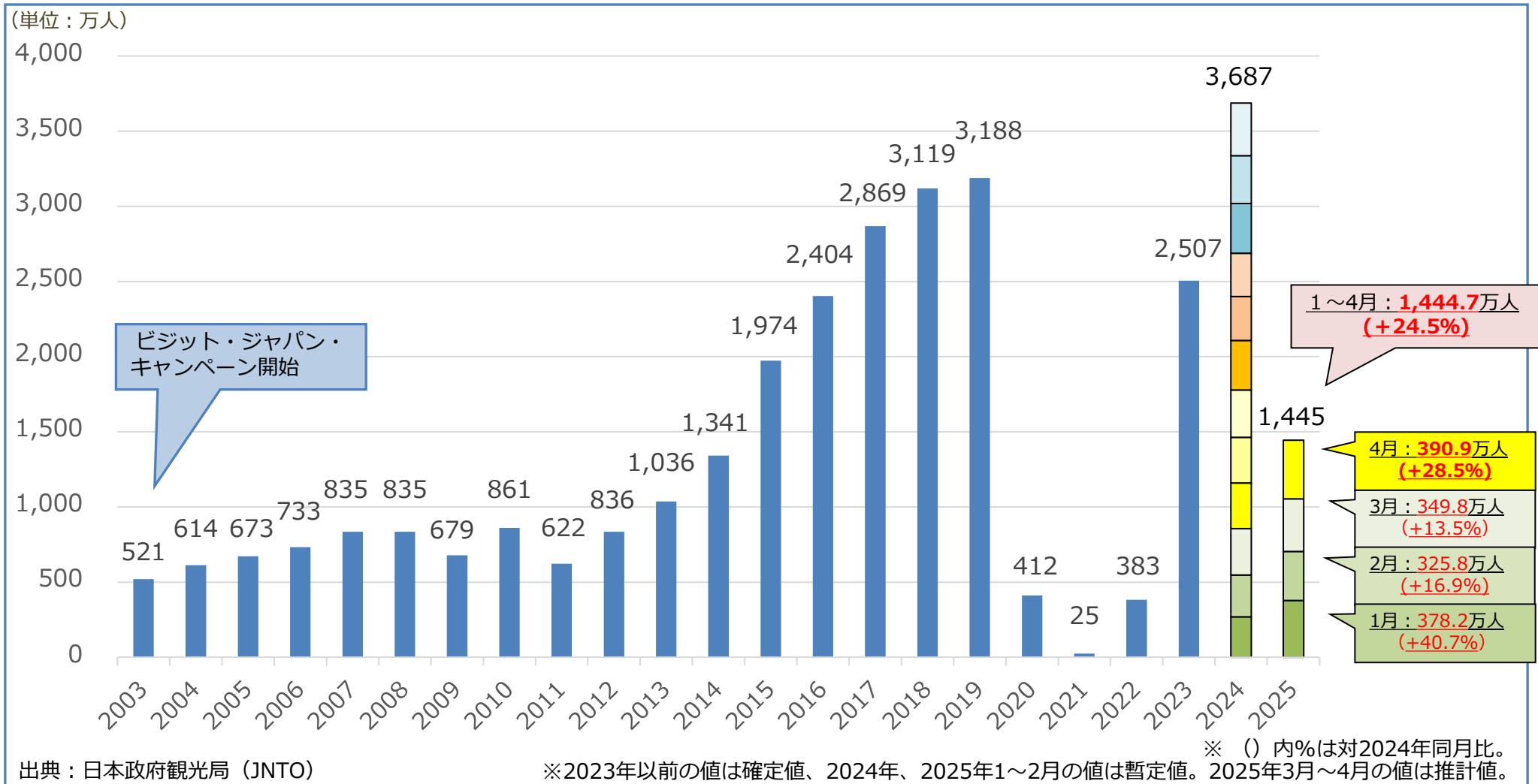
交通関係（航空）

- P16 北海道と世界を結ぶ航空路線
- P17 北海道における国際航空便数の推移
- P18 北海道における東アジア市場の
国際航空便数の推移

その他 参考資料

- P19 北海道観光の構造的課題（1） 地域偏在の解消
- P20 北海道観光の構造的課題（2） 繁閑差の解消

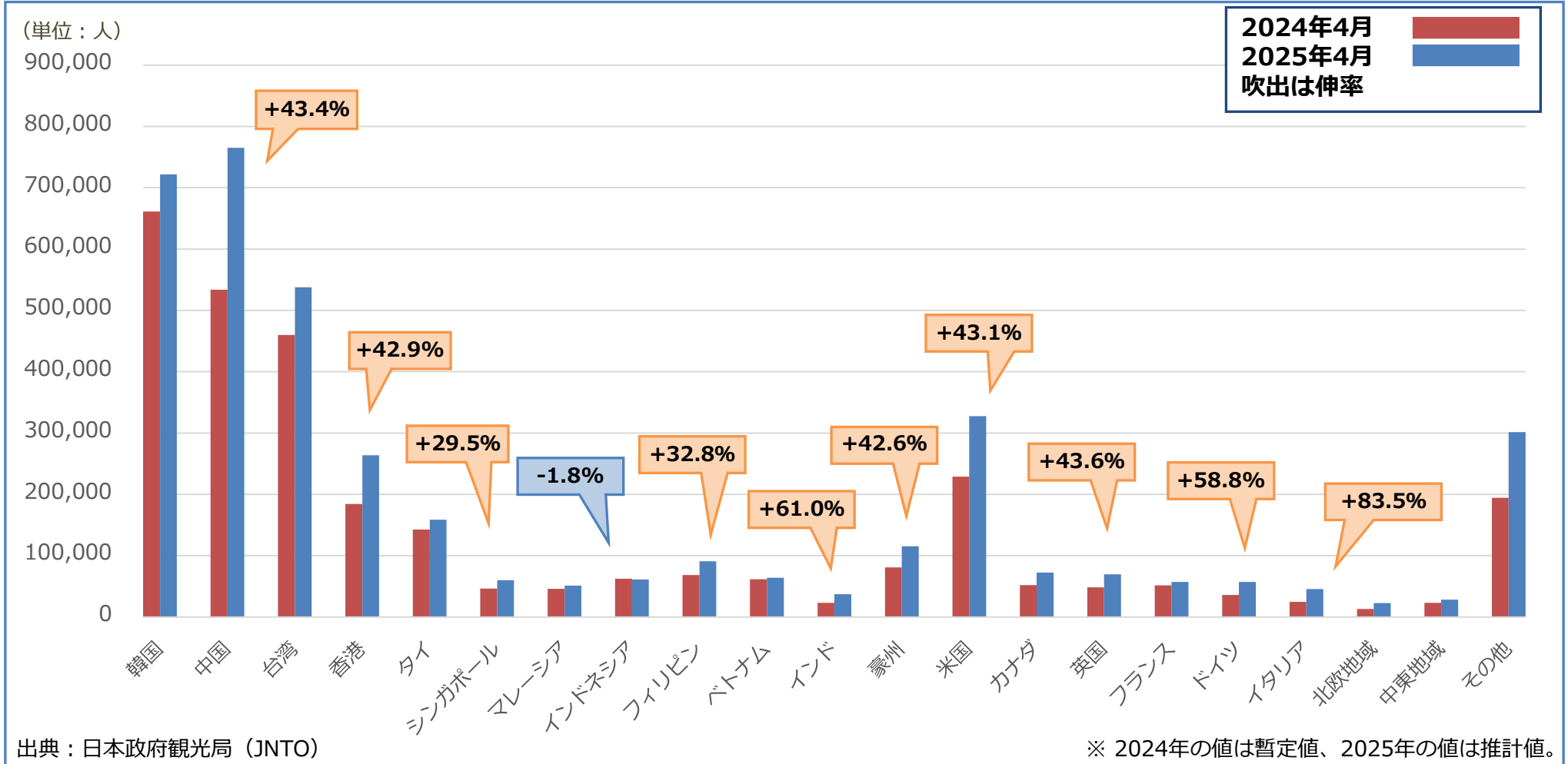
訪日外国人旅行者数の推移（全国・2003年～2025年）



2003年	521.1	2007年	834.7	2011年	621.9	2015年	1,973.7	2019年	3,188.2	2023年	2,506.6
2004年	613.8	2008年	835.0	2012年	835.8	2016年	2,404.0	2020年	411.6	2024年	3,687.0
2005年	672.8	2009年	679.0	2013年	1,036.4	2017年	2,869.1	2021年	24.6	2025年	1,444.7
2006年	733.4	2010年	861.1	2014年	1,341.3	2018年	3,119.2	2022年	383.2		

(単位：万人)

2025年4月の市場別外客数（全国・2024年同月比）

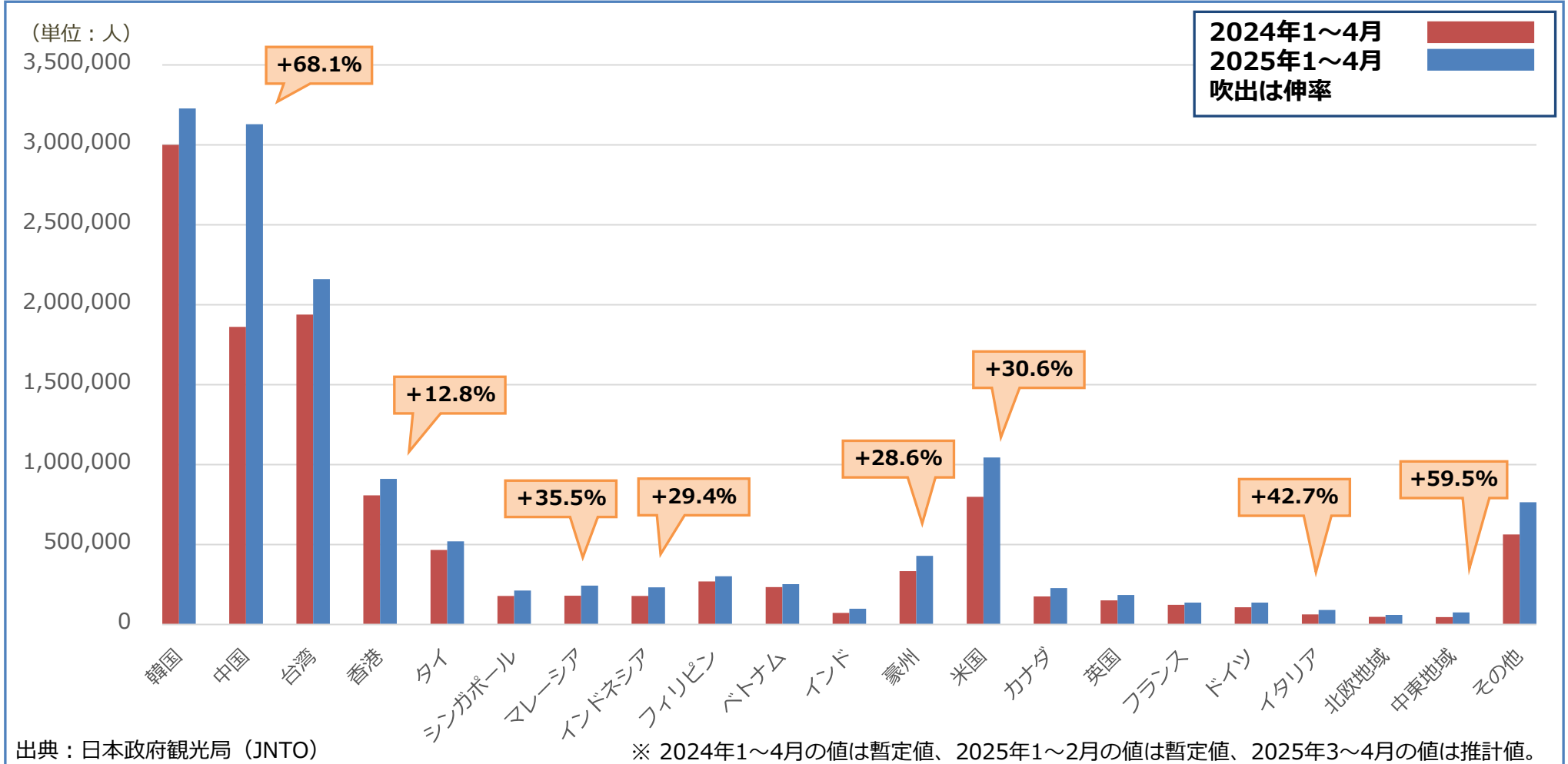


2025年4月 (単位：人)

※ 「中東地域」はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦（UAE）、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。
※ 「その他」はメキシコ、スペイン、ロシアを含む。 ※ 「北欧地域」はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

韓国	721,600	香港	263,600	マレーシア	51,200	ベトナム	64,100	米国	327,500	フランス	57,100	北欧地域	22,800
中国	765,100	タイ	158,500	インドネシア	61,400	インド	37,300	カナダ	72,600	ドイツ	57,200	中東地域	28,400
台湾	537,600	シンガポール	60,000	フィリピン	91,000	豪州	115,200	英国	69,500	イタリア	45,600	その他	301,600

2025年1～4月の市場別外客数（全国・2024年同期比）

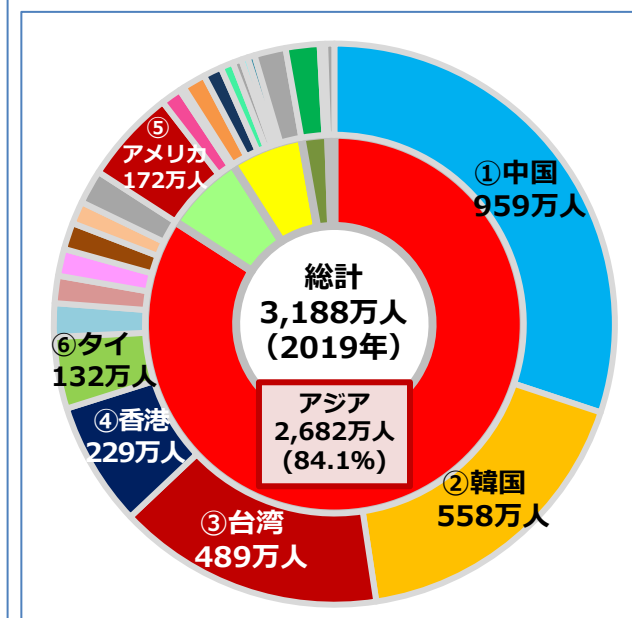
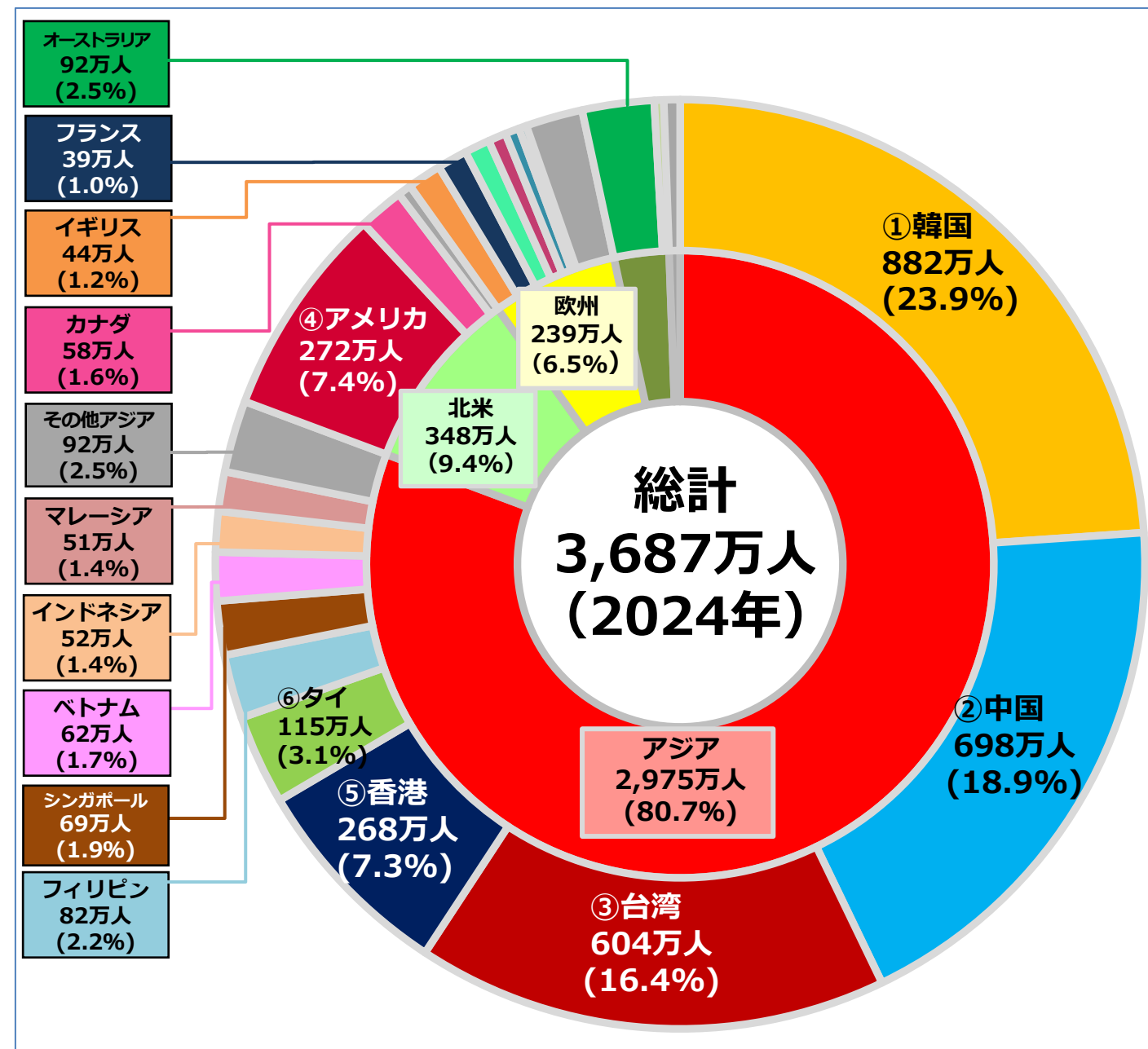


2025年1月～4月

※「中東地域」はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦（UAE）、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。
※「その他」はメキシコ、スペイン、ロシアを含む。 ※「北欧地域」はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

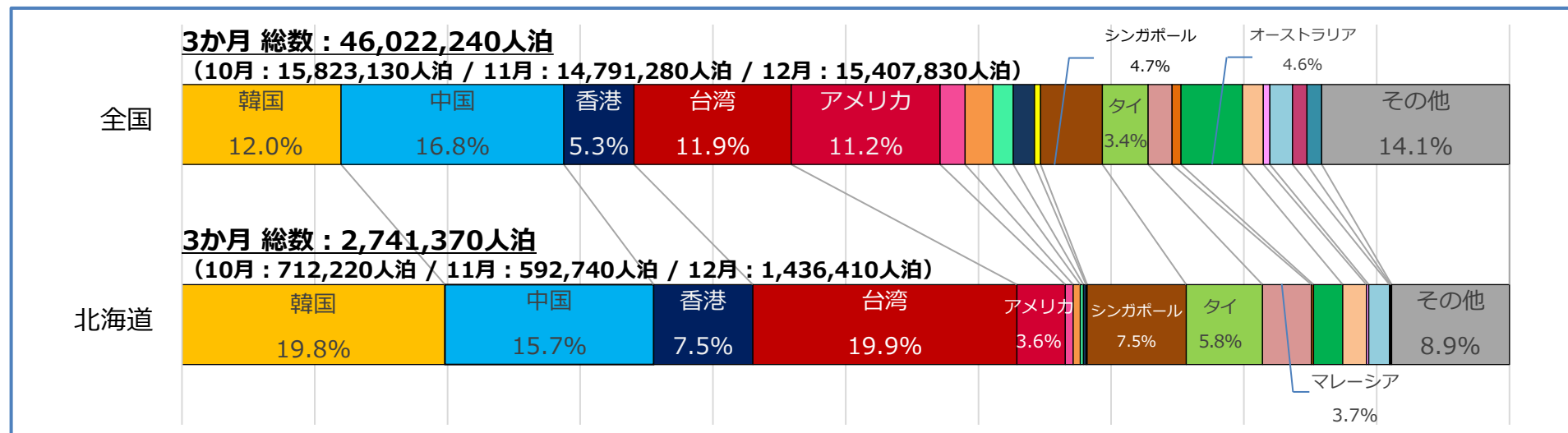
韓国	3,227,800	香港	911,200	マレーシア	244,200	ベトナム	252,400	米国	1,044,400	フランス	136,600	北欧地域	60,600
中国	3,130,200	タイ	520,300	インドネシア	232,300	インド	99,400	カナダ	227,500	ドイツ	136,700	中東地域	75,200
台湾	2,161,300	シンガポール	213,300	フィリピン	302,200	豪州	429,000	英国	185,400	イタリア	90,900	その他	765,700

訪日外国人旅行者数及び割合（2024年、国・地域別）

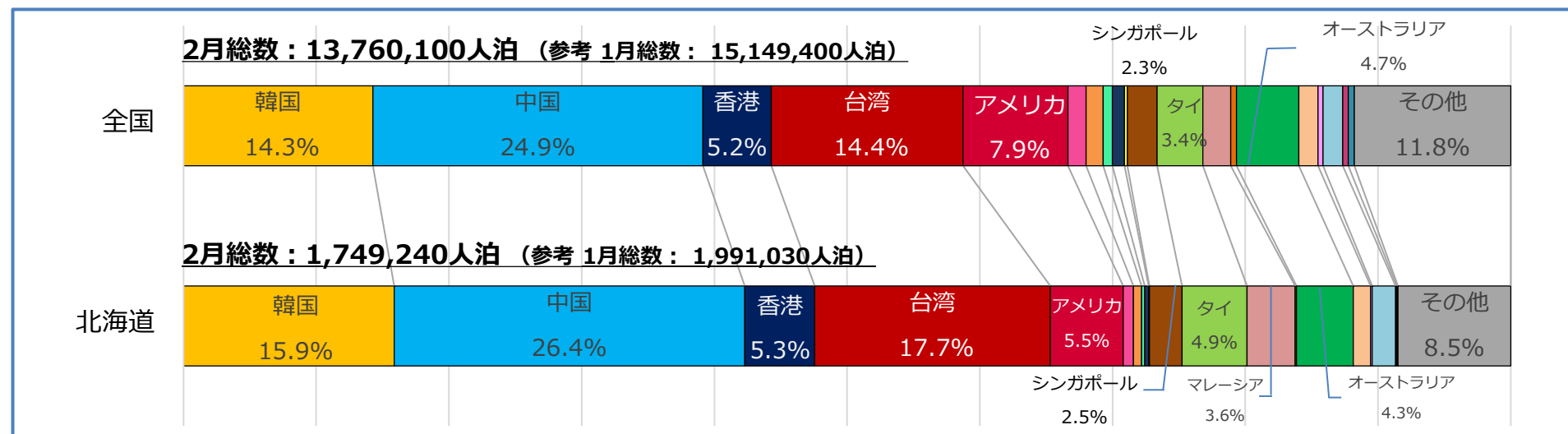


- ※ () 内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア。
- ※ 2019年の値は確定値、2024年の値は暫定値。
- ※ 数値はそれぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。
- ※ 日本政府観光局 (JNTO) 資料より作成。

北海道及び全国における国籍別外国人延べ宿泊者数の割合（2024年10-12月期）

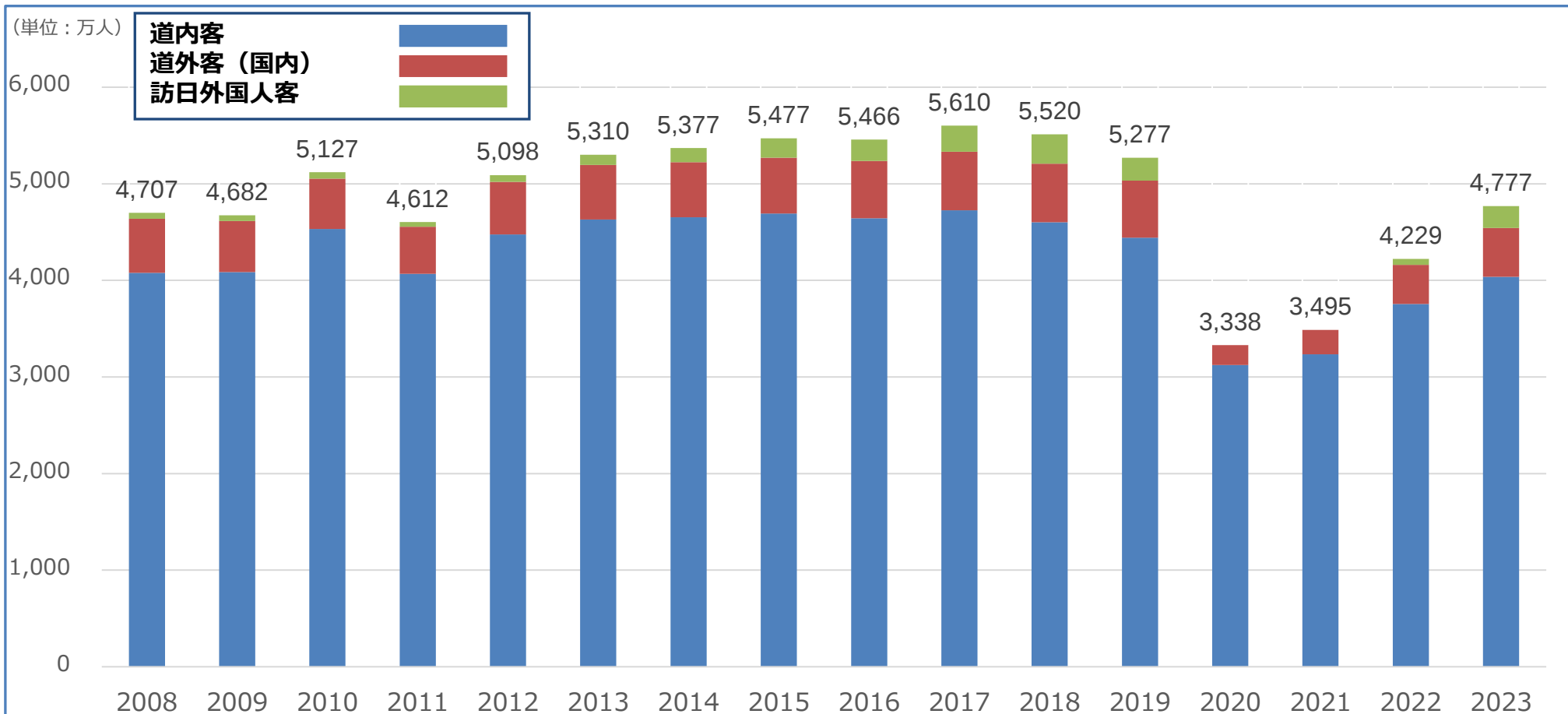


北海道及び全国における国籍別外国人延べ宿泊者数の割合（2025年2月）



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」※グラフは従業者数10人以上の施設に対する調査データから作成。

北海道観光入込客数（実人数）の推移（2008年度～2023年度）

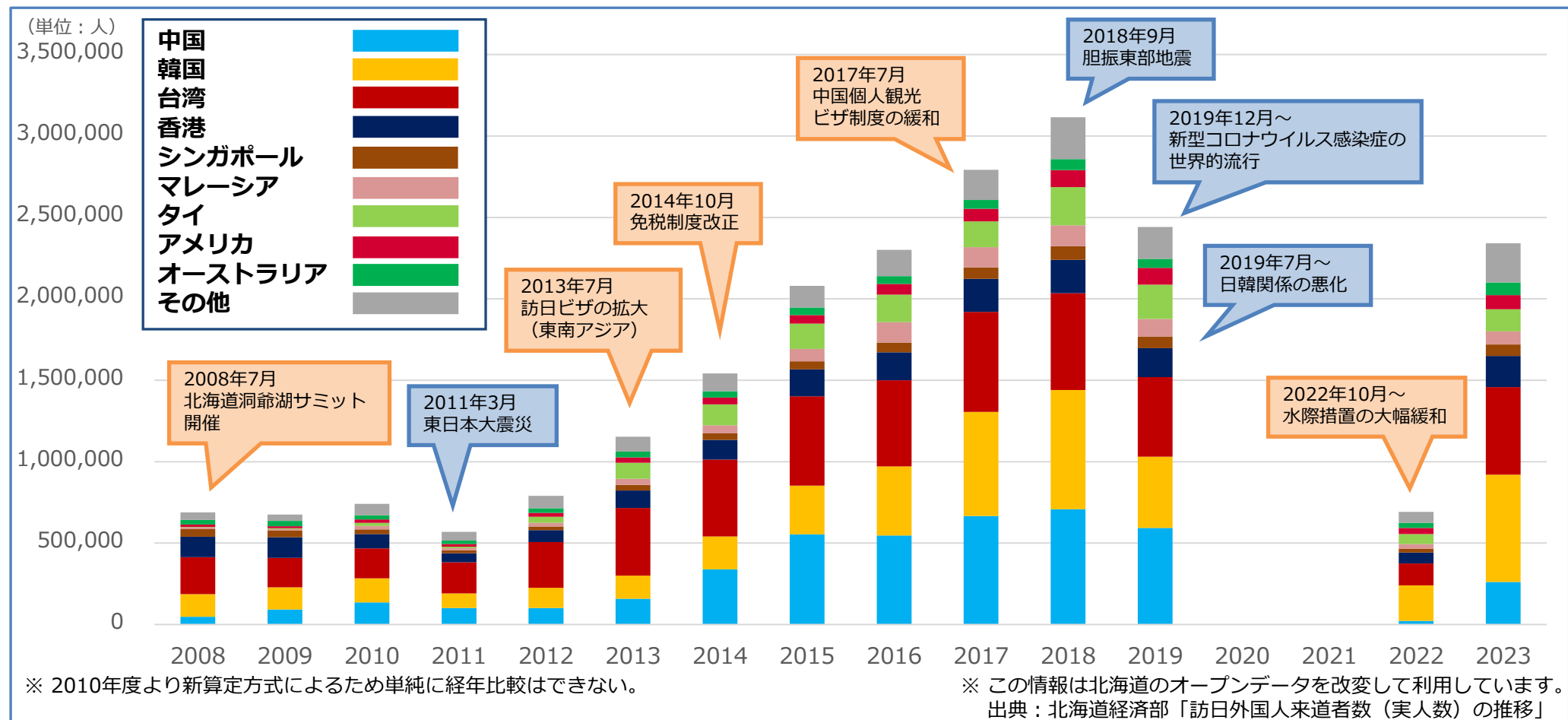


※ 2010年度より新算定方式によるため単純に経年比較はできない。

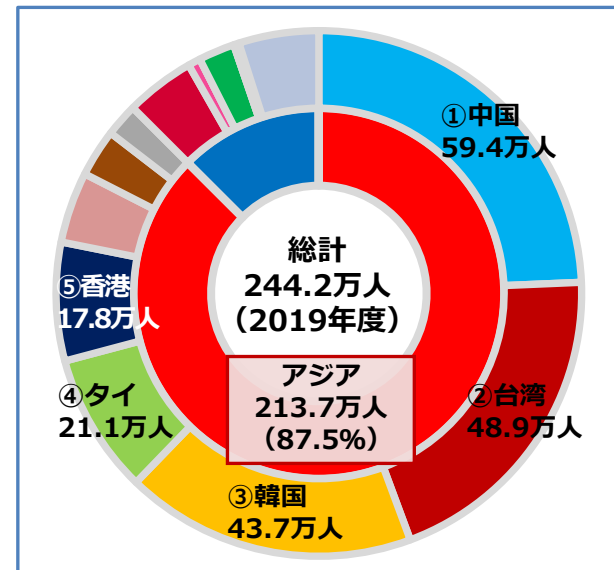
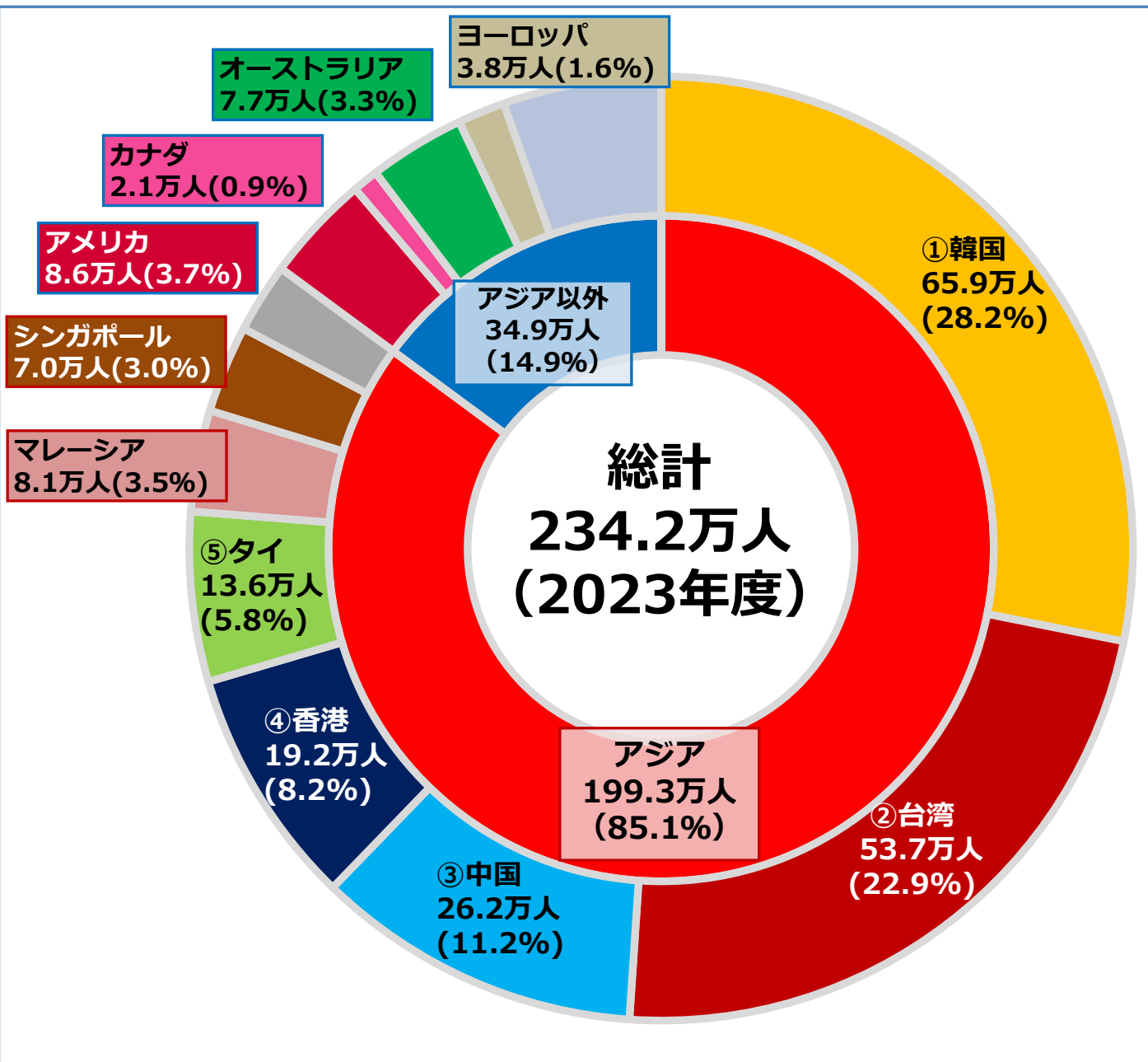
※ この情報は北海道のオープンデータを改変して利用しています。
出典：北海道経済部「北海道観光入込客数（実人数）の推移」

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
道内客	4,079	4,085	4,532	4,068	4,475	4,629	4,654	4,693	4,642	4,725	4,601	4,441	3,123	3,234	3,756	4,038
道外客（国内）	559	529	521	487	544	565	569	577	594	606	607	592	215	261	404	505
訪日外国人客	69	68	74	57	79	115	154	208	230	279	312	244	-	-	69	234
合計	4,707	4,682	5,127	4,612	5,098	5,310	5,377	5,477	5,466	5,610	5,520	5,277	3,338	3,495	4,229	4,777

訪日外国人来道者数（実人数）の推移（2008年度～2023年度）

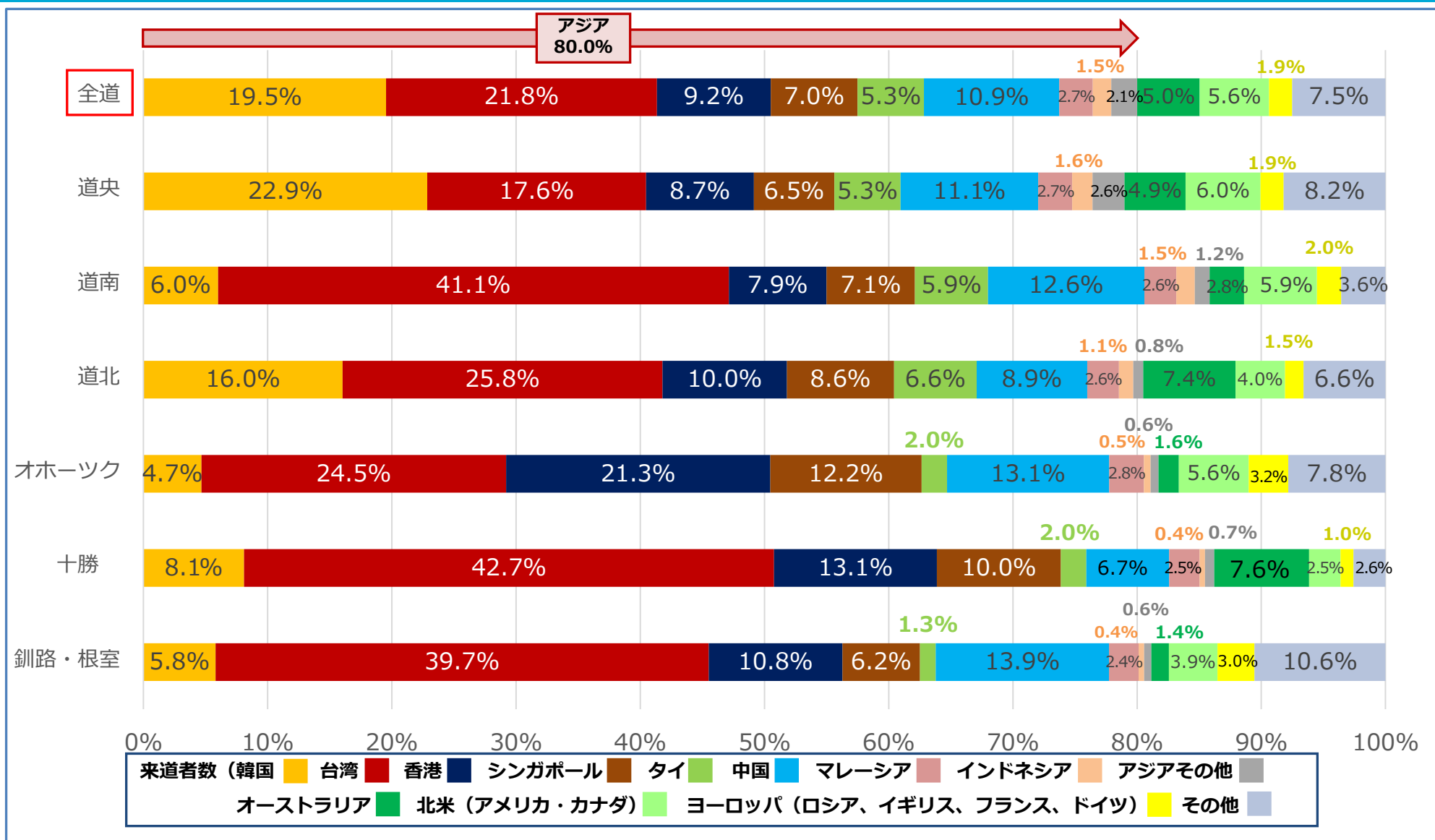


	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
合計	689,150	675,350	741,700	569,700	790,400	1,153,100	1,541,300	2,080,000
うちアジア	608,300 / 88.3%	602,100 / 89.2%	624,100 / 84.1%	478,300 / 84.0%	661,700 / 83.7%	993,600 / 86.2%	1,352,500 / 87.8%	1,848,000 / 88.8%
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
合計	2,301,200	2,792,100	3,115,000	2,442,000	-	-	692,200	2,341,600
うちアジア	2,026,500 / 88.1%	2,476,100 / 88.7%	2,687,200 / 86.3%	2,136,600 / 87.5%	-	-	575,800 / 83.2%	1,992,900 / 85.1%



※ この情報は北海道のオープンデータを改変して利用しています。
出典：北海道経済部「北海道観光入込客数調査」

圏域別訪日外国人来道者の国・地域別の割合（2023年度・宿泊延べ数）



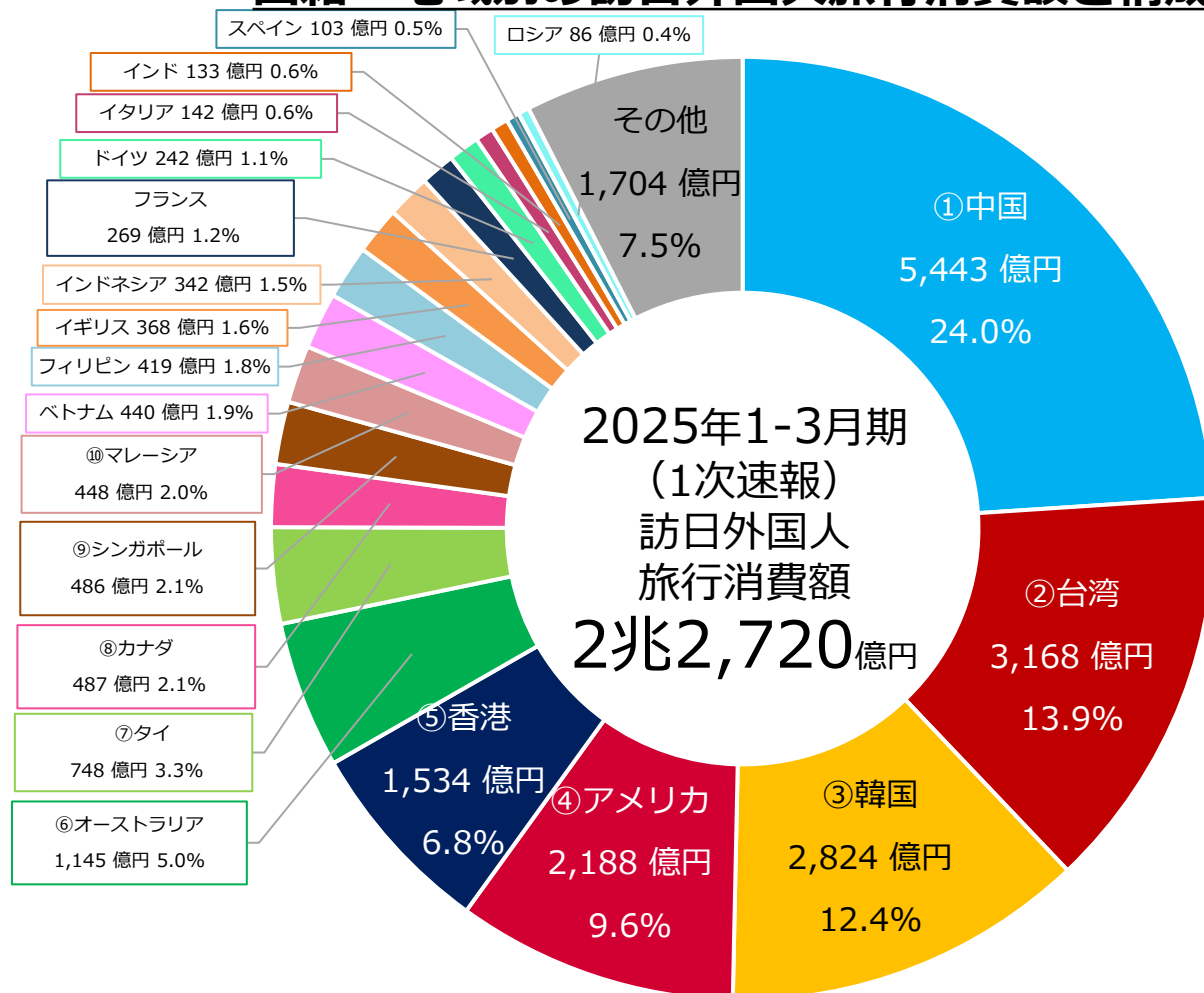
コロナ禍以前と比較して各圏域の欧米豪市場のシェアは増えているものの、依然としてアジア市場に集中傾向がある。

※ この情報は北海道のオープンデータを改変して利用しています。
出典：北海道経済部「北海道観光入込客数調査」

- 2025年1-3月期の訪日外国人（一般客） 1人当たりの旅行支出は約22万2千円と推計される。2024年同期間（約21万1千円）に比べ約5.2%増加。
- 訪日外国人旅行消費額は2兆2,720億円。2024年同期間（1兆7,700億円）に比べ約28.4%増加。

国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比

※データは「全目的」の実績を使用。

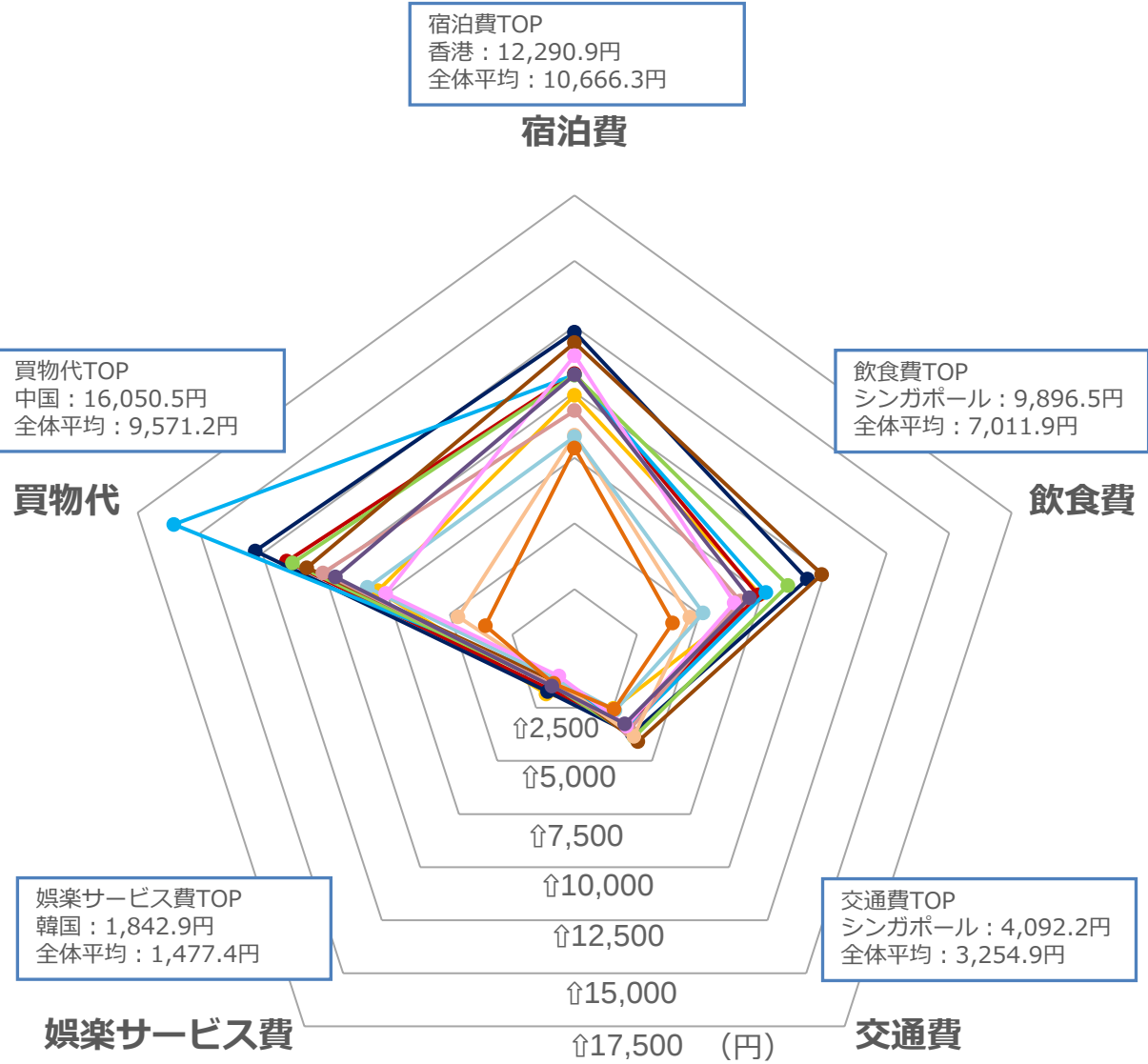


参考：2025年1月～3月 市場別外客数		
1	韓国	2,506,158人
2	中国	2,364,924人
3	台湾	1,623,646人
4	アメリカ	716,794人
5	香港	647,643人
6	タイ	361,797人
7	オーストラリア	313,767人
8	フィリピン	211,198人
9	マレーシア	192,959人
10	ベトナム	188,313人

出典：日本政府観光局（JNTO）

※ 2025年1～2月の値は暫定値、
2025年3月の値は推計値。

1泊当たりの費目別旅行消費額（アジア・2025年1-3月期）

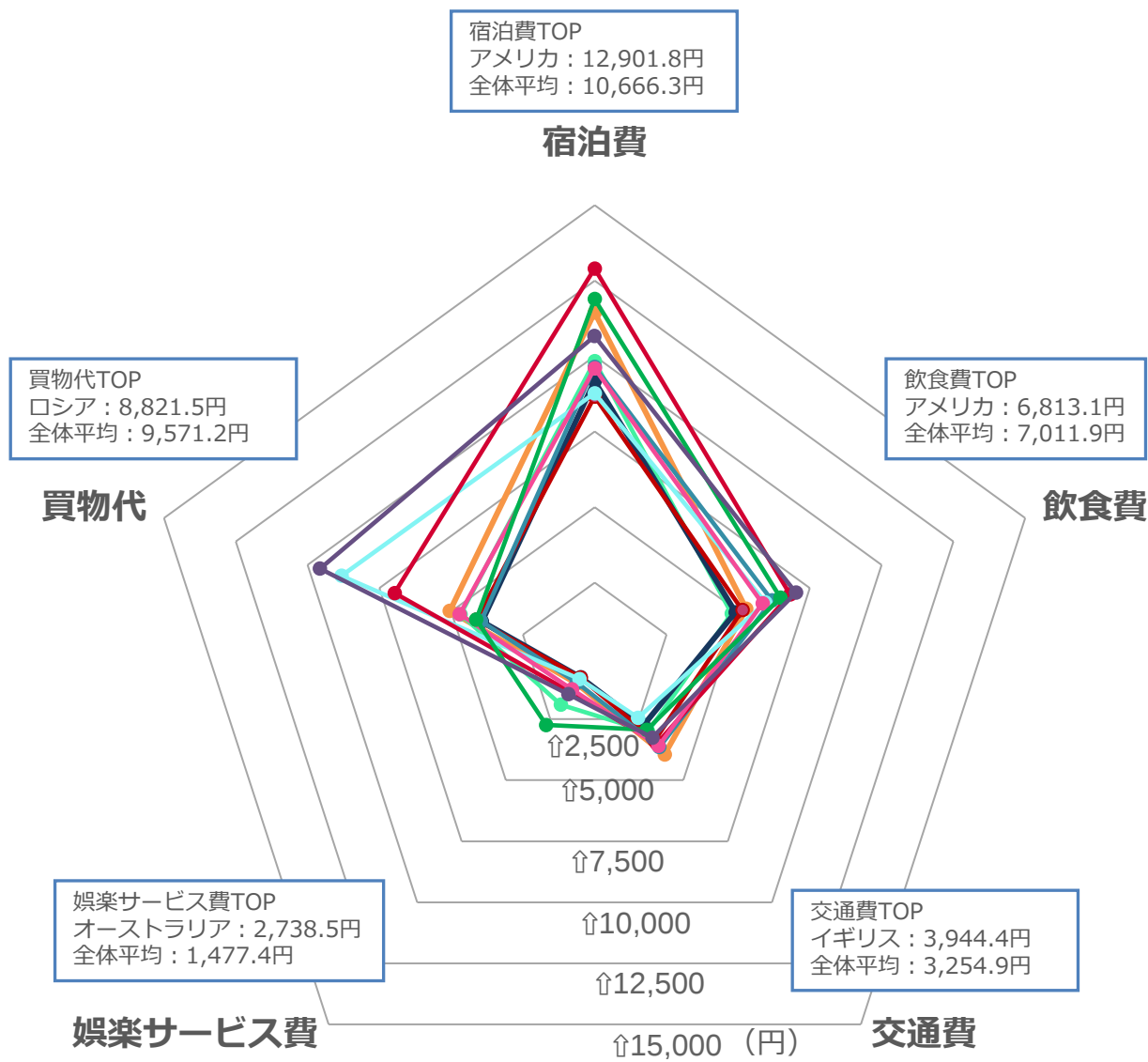


国籍・地域別 1泊あたり総消費額TOP5及び平均泊数		
香港	39,852.8円	6.0泊
中国	39,007.9円	6.6泊
シンガポール	37,855.8円	8.5泊
タイ	35,799.4円	5.9泊
台湾	34,589.3円	5.7泊
全体平均	31,991.9円	6.9泊

日本滞在中の総消費額TOP5	
シンガポール	320,956.3円
中国	257,178.9円
マレーシア	247,212.4円
香港	238,746.1円
インド	230,622.8円
全体平均	221,284.6円

※ 「全体平均」は欧米豪市場含む全対象市場の平均。
※ データは「観光・レジャー目的」の実績を使用。

1泊当たりの費目別旅行消費額（欧米豪・2025年1-3月期）



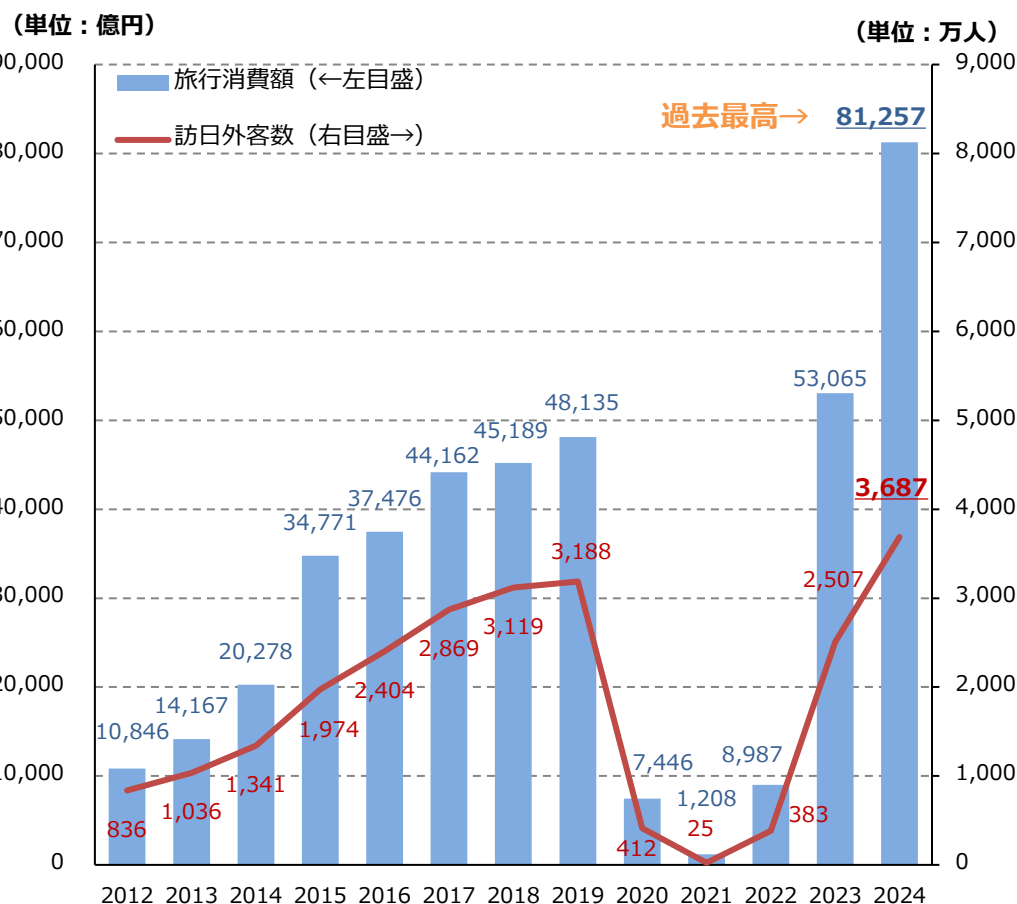
国籍・地域別 1泊あたり総消費額TOP5及び平均泊数			
	アメリカ	31,576.0円	10.2泊
	オーストラリア	28,175.1円	13.6泊
	ロシア	26,845.0円	11.7泊
	イギリス	26,755.7円	12.2泊
	カナダ	25,025.5円	14.2泊
	全体平均	31,991.9円	6.9泊

日本滞在中の総消費額TOP5	
オーストラリア	382,088.5円
フランス	359,300.4円
カナダ	355,301.6円
ドイツ	350,498.0円
イタリア	330,621.7円
全体平均	221,284.6円

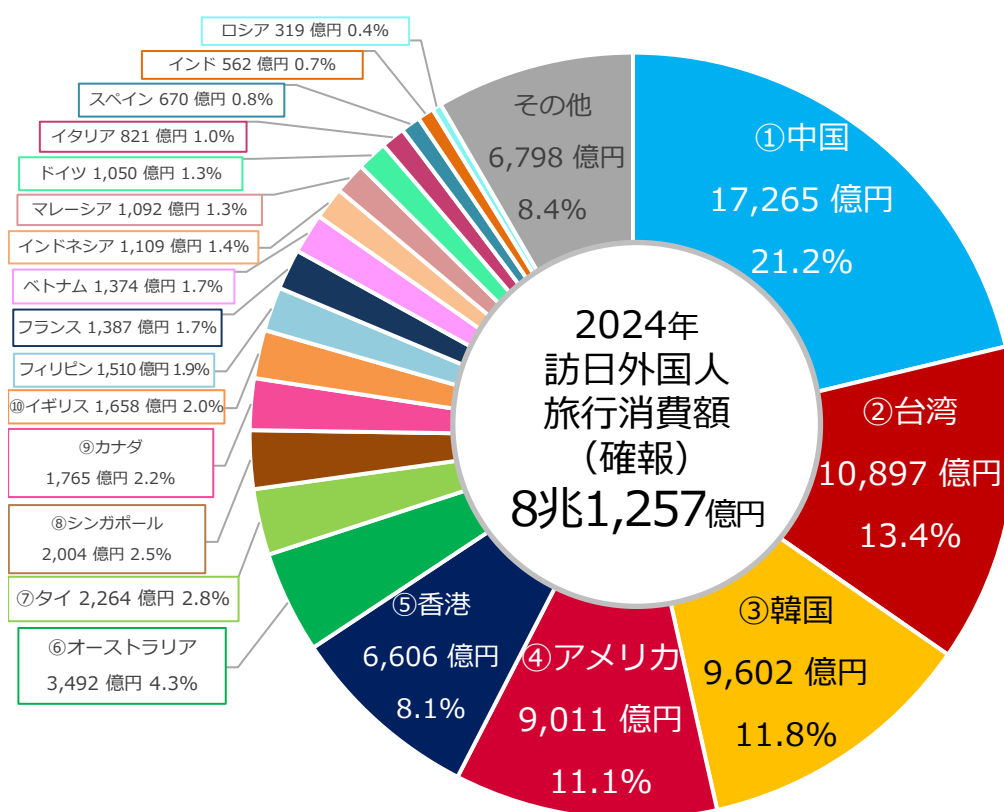
※ 「全体平均」はアジア市場含む全対象市場の平均。
※ データは「観光・レジャー目的」の実績を使用。

○2024年の訪日外国人旅行消費額（確報）は8兆1,257億円と推計される。
訪日旅行の本格的な再開や円安の影響を追い風に、2023年（5兆3,065億円）と比較して
約53.1%増となる過去最高の消費額となった。

旅行消費額と訪日外国人旅行者数の推移

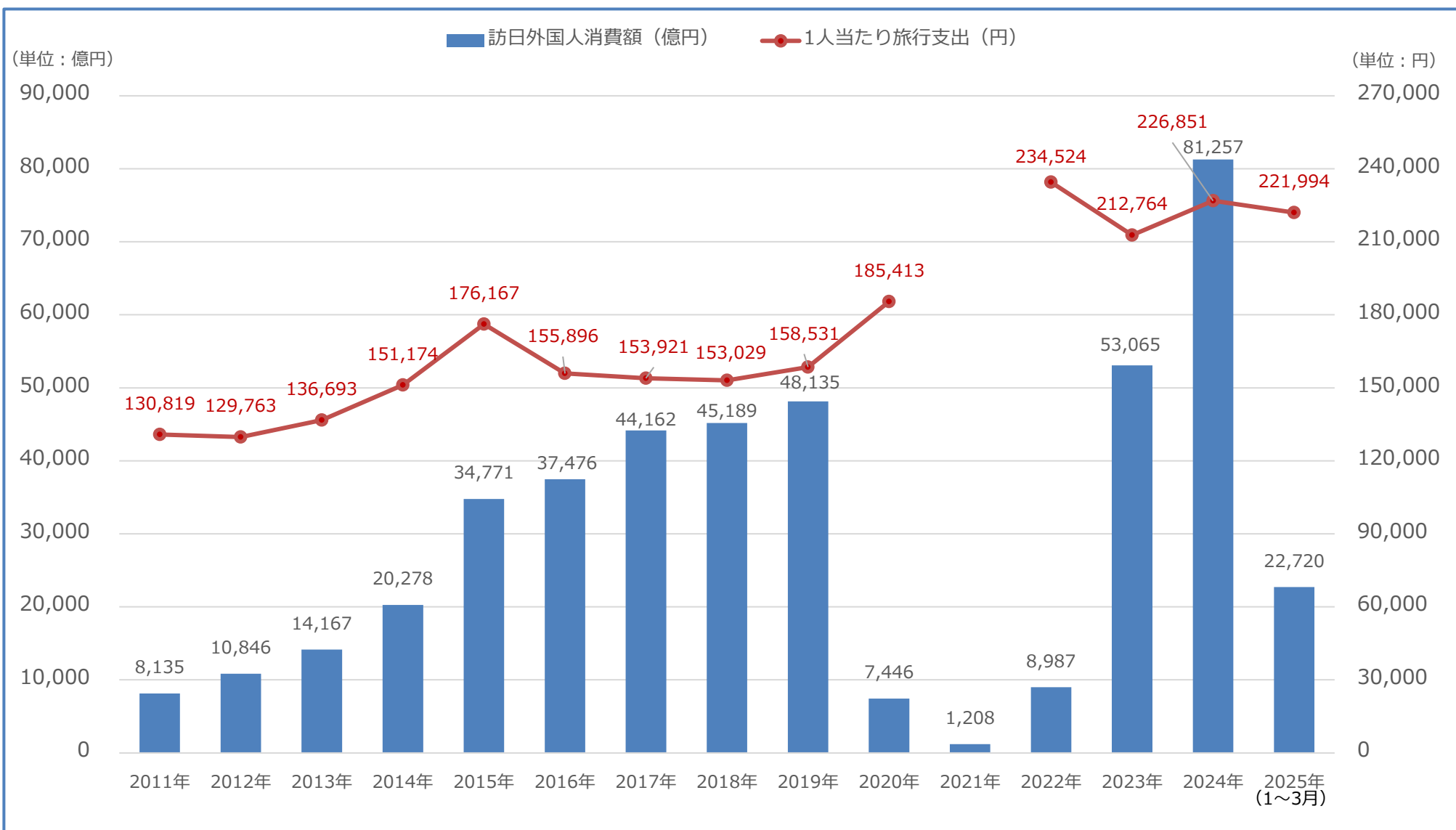


国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比



※ 2020年・2021年・2022年の数値は試算値（新型コロナウイルス感染症の影響）。

訪日旅行における1人当たり旅行支出の推移



※ 「1人当たり旅行支出」について、観光庁で2021年の数値を算出していないため未記載。

※ 2021年・2020年の数値は試算値（新型コロナウイルス感染症の影響）。

※ 2019年以前・2023年・2024年の数値は確報値、2025年の数値は速報値。

出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」

※国際定期便運航便数は第1週(5/4～10)を基準として計上しています。

札幌（新千歳空港）			
中国	北京	中国国際航空（CA）	週7便
		北京首都航空（JD）	週2便
	上海	中国東方航空（MU）	週7便
		春秋航空（9C）	週5便
		上海吉祥航空（HO）	週3便
	深圳	深圳航空（ZH）	週3便
	西安	海南航空(HU)	週1便
			週28便 (前年：週17便)

韓国	ソウル	済州航空（7C）	週7便
		ジンエアー（LJ）	週7便
		アジアナ航空（OZ）	週7便
		ティーウェイ航空（TW）	週7便
		大韓航空（KE）	週7便
		イースター航空（ZE）	週7便
	釜山	ジンエアー（LJ）	週7便
		エアブサン（BX）	週7便
	清州	エアロK（RF）	週13便
			週69便 (前年：週63便)

台湾	台北	タイガーエア台湾（IT）	週7便
		チャイナエアライン（CI）	週7便
		スターラックス航空（JX）	週7便
		エバー航空（BR）	週14便
	高雄	タイガーエア台湾（IT）	週3便
			週38便 (前年：週28便)

香港	香港航空（HX）	週7便	週12便 (前年：週8便)
	キャセイパシフィック航空（CX）	週5便	

タイ (バンコク)	タイ国際航空（TG）	週7便	週7便 (前年：週3便)
--------------	------------	-----	-----------------

シンガポール	スクート（TR）	週4便 (台北経由便)	週4便
--------	----------	----------------	-----

フィリピン (マニラ)	セブパシフィック（5J）	週3便	週3便
----------------	--------------	-----	-----

計：週161便
(前年：週123便)

函 館

台湾(台北)	タイガーエア台湾（IT）	週5便	週8便
	スターラックス航空（JX）	週3便	

計：週8便
(前年：週10便)

旭 川

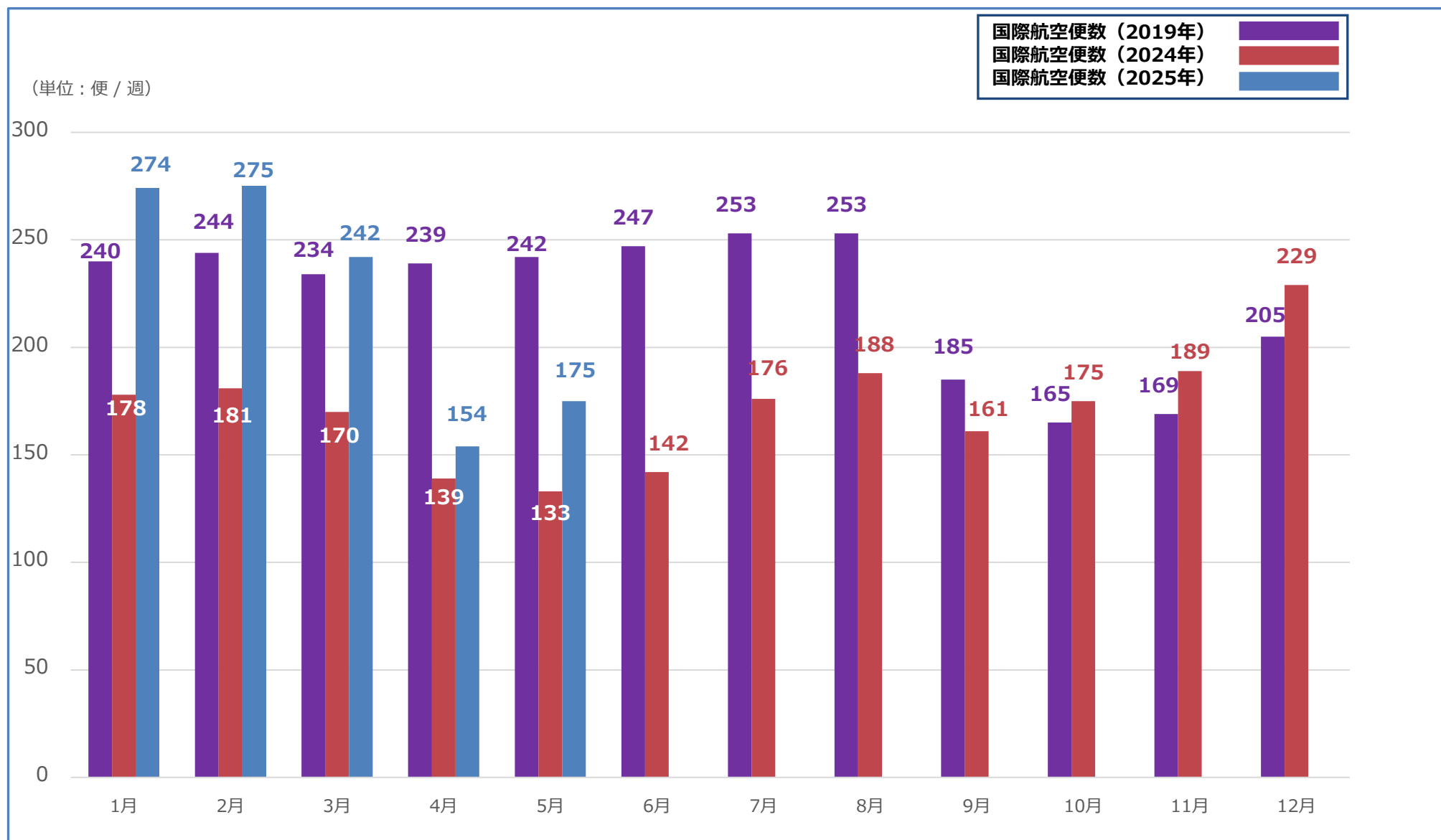
台湾（台北）	タイガーエア台湾（IT）	週2便	週2便
韓国(ソウル)	アジアナ航空(OZ)	週4便	週4便

(単位：便/週)
計：週6便
(前年：週0便)

○その他運航
【韓国】
・帯広―清州
 エアロK（RF）
 →5/21～ 週3便運航予定

※前年同月から便数に増減があった市場は黄色で記載。

コロナ禍後の国際航空便数の推移（2019・2024・2025各月比較）



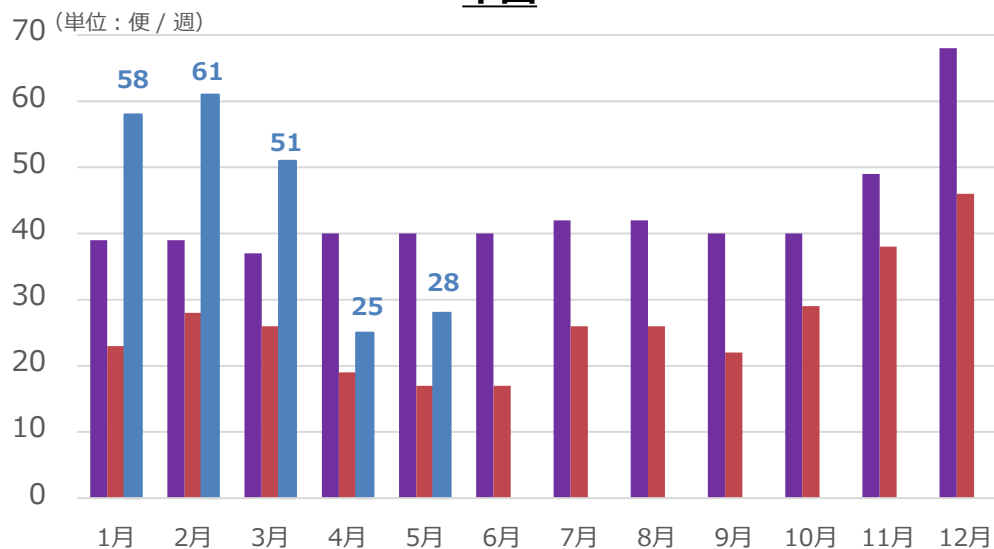
※国際定期便運航便数は第1週を基準として計上しています。

北海道における東アジア市場の国際航空便数の推移

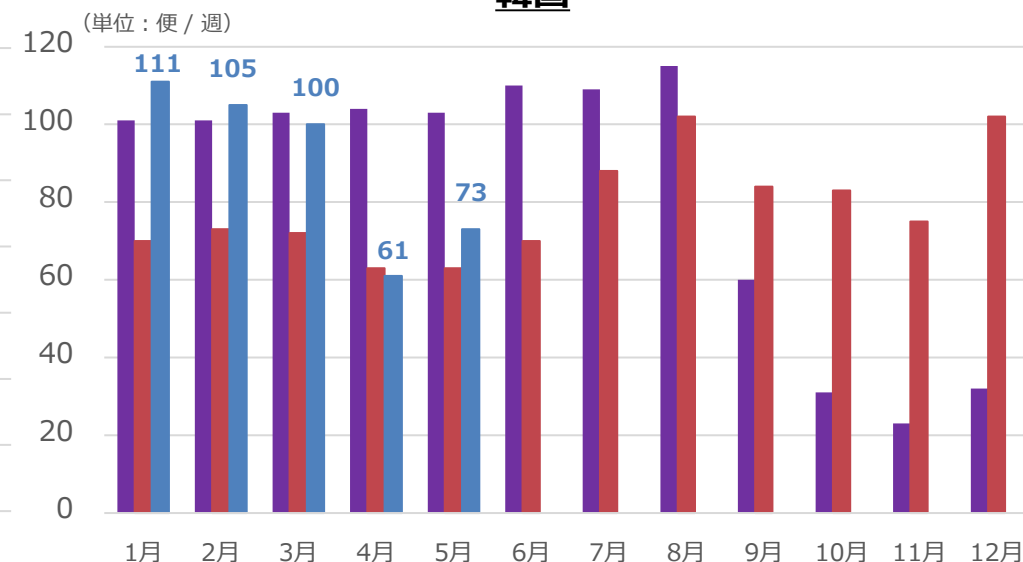
※国際定期便運航便数は第1週を基準として計上しています。

国際航空便数（2019年）（2024年）（2025年）

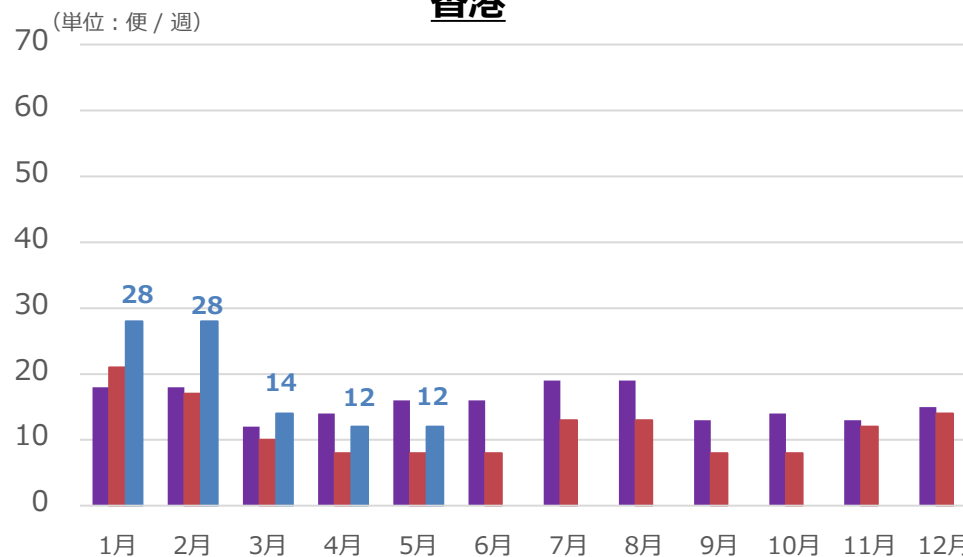
中国



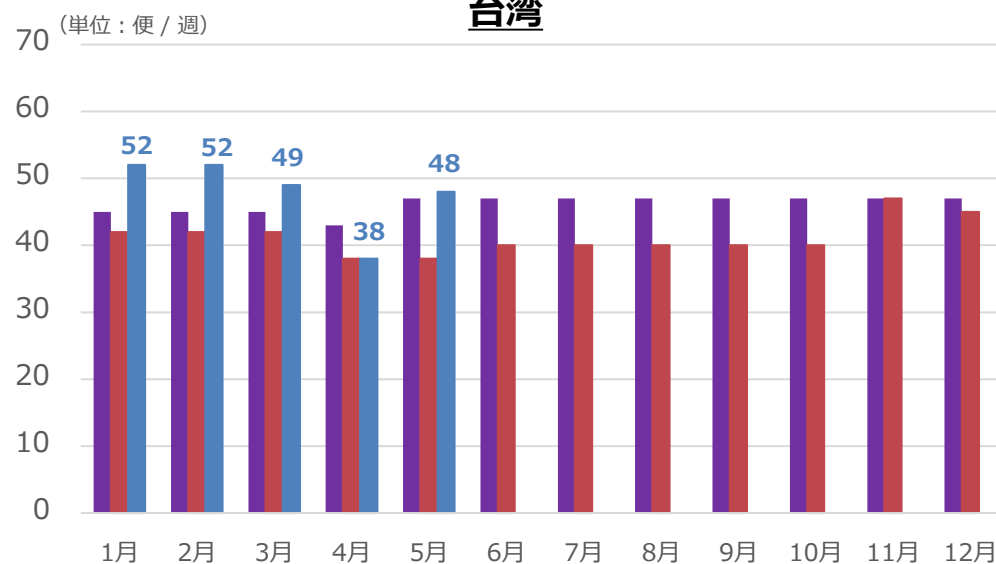
韓国



香港



台湾



2019年度 訪日外国人宿泊延べ数（北海道全体） 753.6万人

2023年度 訪日外国人宿泊延べ数（北海道全体） 673.3万人

道央圏		
19年度	548.0万人	72.7%
23年度	481.9万人	71.6%

道北圏		
19年度	92.3万人	12.3%
23年度	97.1万人	14.4%

オホーツク圏		
19年度	12.0万人	1.6%
23年度	10.4万人	1.5%

釧路・根室圏		
19年度	17.6万人	2.3%
23年度	15.2万人	2.3%

十勝圏		
19年度	16.3万人	2.2%
23年度	14.5万人	2.2%

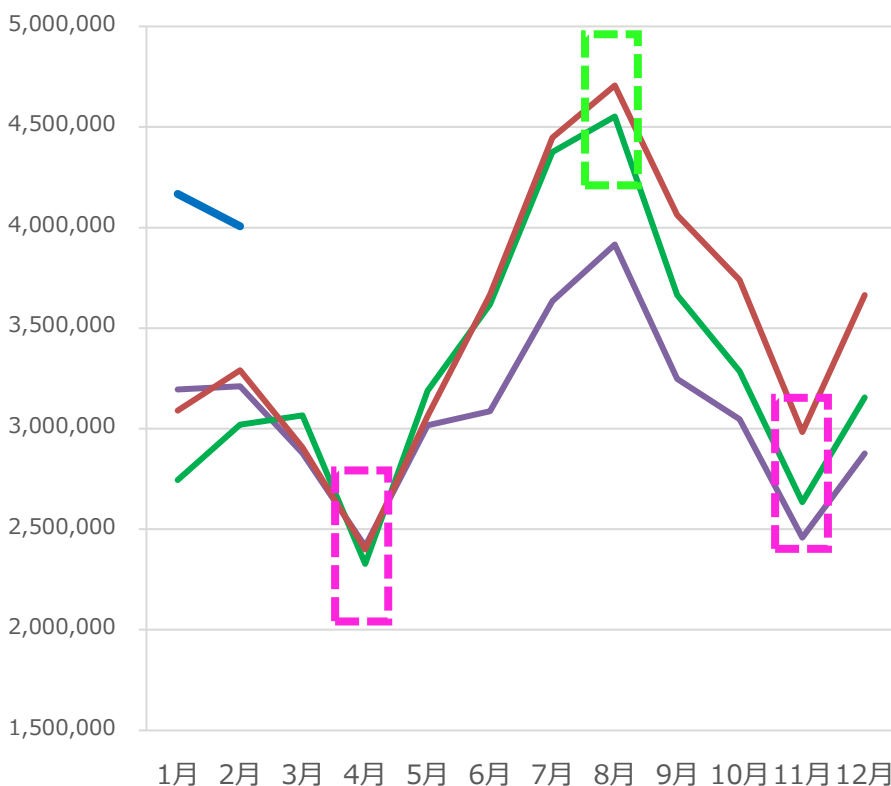
道南圏		
19年度	67.4万人	8.9%
23年度	54.2万人	8.0%

- ・コロナ禍前と比較すると分散されているが、依然として旅行先は道央圏に集中。
- ・地域経済の活性化のため、道内各地へ旅行先の分散が必要。

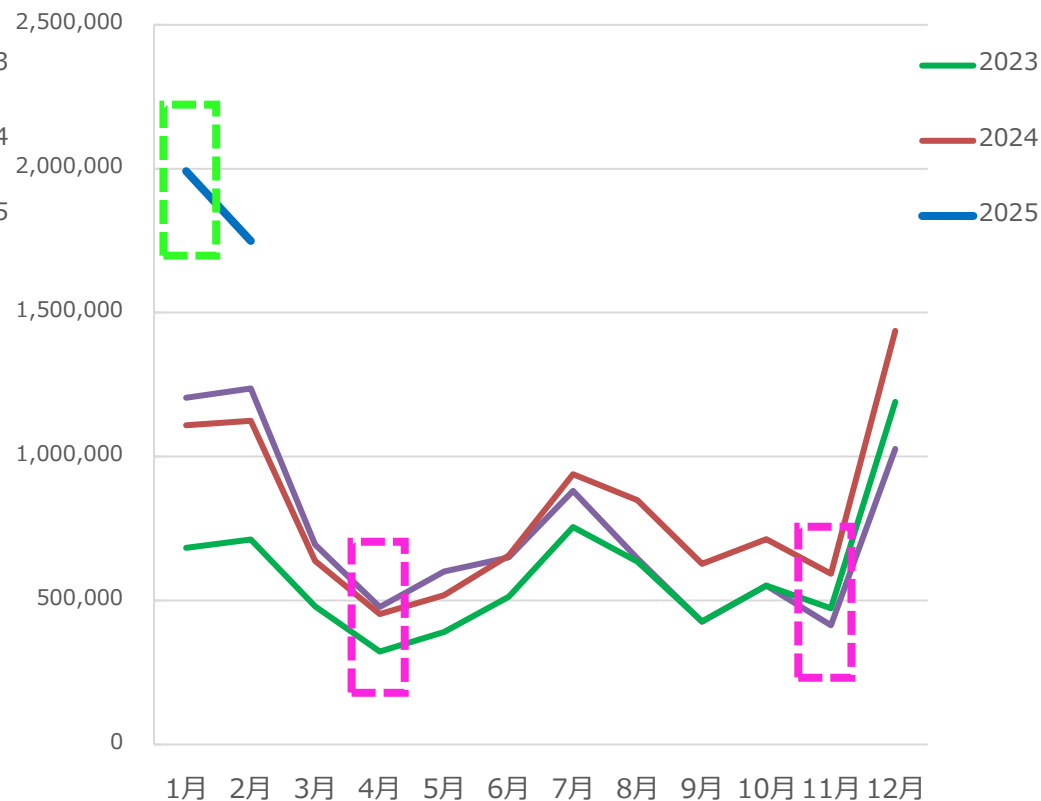
道内月別延べ宿泊者数（外国人含む）

道内月別延べ宿泊者数（外国人のみ）

（単位：人泊）



（単位：人泊）



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

・ 通年でのサービス水準の向上を図るため、観光客が減少する4月と11月の観光コンテンツを拡充させて、それぞれの月で観光客数を底上げすることが必要である。